

ポケットに手を入れて 歩いていると……

寒くなると背中を丸めて歩いたりポケットに手を入れて歩くお子さんの姿をよく見かけます。下を向いて歩いていたのでは周りの様子が見えないので危険です。また、長すぎる袖に手をかくして歩くお子さんもいますが、転んだ時に手をついて身を守れず顔や頭に大けがをすることがあります。

前を向いて元気に歩けるようサイズの合った動きやすい服を着て寒い日には手袋を着けるようにしましょう。

歩きながら手袋を着けたりボタンをとめたりすると周りが見えない危険です。安全のため身支度を済ませてから出かけるようにしましょう。



おうちのひとのための

鯖江市

交通安全新聞 11月号

歩き方を教えるときは **子どもの目線** に気をつけて

お子さんと一緒に歩く中で、道路の横断方法や信号の見方など教えていくことはとても大切なことです。子どもたちの様子を見ていて気づいたのが、「確認すべきところを全く見ていない」ということです。左右確認や信号は、見なければいけないと分かっているのに顔は向けているのですが、目線は外れているのです。そういう子がたくさんいます。ですから、普段の暮らしの中で道路を横断するときは、左右確認は遠くのほうまでということと、どの信号を見て横断すべきかをしっかりとお子さんに教えてあげてください。

下を向いて歩く子が多いです
「歩くときは前を見て」です



信号はいろんな方向を向いていて、子どもはなかなか分かりません。



《 交通安全クイズ 》 絵を見て考えよう

[答え]いいこと

「いいこと」か「だめなこと」かどっちでしょうか？



ドアの開け閉めや車の乗り降りにつき添い、飛び出しやひとり歩き中の事故を防ぎましょう。